

新学習指導要領における「法教育」のあり方を問う —「対立と合意、効率と公正」「幸福、正義、公正」を事例にして—

新学習指導要領社会科・公民科では、新しい概念的枠組みや現代社会の諸課題をとらえる枠組みが提示された。いわゆる、「対立と合意、効率と公正」「幸福、正義、公正」などである。これらの「枠組み」は従前の社会科・公民科では取り扱われておらず、特に、「効率」、「公正」、「正義」などは、その概念内容の「難しさ」から授業を作る上で様々な困難が予想される。本シンポジウムでは、これら、「法教育」とも関連の深い、また新規性の高い価値・概念をどう取り扱っていけば良いのかについて検討することを目的としている。この課題を解決するために、まずこれらの価値・概念が新学習指導要領に登場した背景などについて、基調講演で明らかにして頂く。そして、これらの価値・概念に関わる授業づくりに関わった大学教員にそれぞれが作成した授業の内容と作成上の「ポイント（留意点）」などについて報告をしてもらう。そして、最後に、これらの授業開発・実践のあり方などについて議論を深めていくため、指定討論者に前述の価値・概念と関連する経済学の研究者のお立場から、また法学研究者のお立場から、それぞれ、開発された授業についての感想と、これらの価値・概念の授業開発・実践のあり方についてご意見を頂き、これらのご意見を踏まえ、パネラー並びにフロアーの皆さんとともにパネルディスカッションを進めていく。

日時：6月17日（日） 12：30開場 13：00～16：30

場所：千代田区立 日比谷図書文化館 スタジオプラス（〒100-0012 千代田区日比谷公園1番4号
日比谷公園内 日比谷公会堂北 <http://hibiyal.jp/hibiya/about.html>）

12：30～ 開場・受付

13：00～13：10 シンポジウムの趣旨 福井大学教育地域科学部准教授 橋本康弘

13：10～14：10 基調講演 岐阜大学教育学部教授 大杉昭英

14：10～15：10 「対立と合意、効率と公正」「幸福、正義、公正」に関する授業プラン報告

岡山大学大学院教育学研究科准教授 桑原敏典

川崎医療短期大学准教授 中原朋生

宮崎大学大学院教育学研究科准教授 吉村功太郎

15：10～15：20 休憩

15：20～16：30 パネルディスカッション

パネラー 岡山大学大学院教育学研究科准教授 桑原敏典

川崎医療短期大学准教授 中原朋生

宮崎大学大学院教育学研究科准教授 吉村功太郎

指定討論者 京都大学大学院公共政策連携研究部教授 土井真一

日本大学経済学部教授 中川雅之

司会 筑波大学附属駒場中・高等学校教諭 吉田俊弘

福井大学教育地域科学部准教授 橋本康弘

定員：60名（事前申し込み不要）

参加料：無料

主催 法に関する教育教材開発研究会

後援 法と教育学会（申請中）、経済教育ネットワーク

問い合わせ先：福井大学教育地域科学部 橋本康弘

〒910-8507 福井市文京3-9-1 福井大学教育地域科学部社会系教育講座

E-Mail ychasimot@u-fukui.ac.jp TEL/FAX(0776)27-8449

※本シンポジウムは、(財)文教協会の助成を受け、実施するものです。